

新入生校内オリエンテーションの試行

～低学年からの交通ルール遵守に向けた意識付けの取組～

松尾 賢一・西野 悟・酒井 史敏・大谷 真弘・小柴 孝

Trial of freshman Orientation on College of Technology

Ken'ichi Matsuo , Satoru Nishino , Fumitoshi Sakai , Masahiro Ohtani and Takashi Koshiha

近年の学生に見られる一般常識の欠如や交通マナー遵守などの規範意識の低下によって引き起こされる学生による様々な問題や事故が学内外で頻繁に発生している。この問題を解決する一つの方策として、平成22年度から交通マナーの向上や交通ルール遵守に向けた意識付けの取組を学生委員会主導で実施している。この取組内容をより一層推進するため、平成23年度から新入生オリエンテーションを校内で開催することによって、実施会場までの移動時間削減した分を学内におけるルールや交通マナーの意識を向上させる研修内容の充実にあてたオリエンテーション内容に改定した。

本論文では、この新入生校内オリエンテーションの試行実施までの経緯と具体的なオリエンテーション実施内容について述べるとともに、校内での新入生オリエンテーション実施の効果と今後の課題について言及する。

1. はじめに

近年の学生に見られる一般常識の欠如や交通マナー遵守などの規範意識の低下によって引き起こされる学生による様々な問題や事故が学内外で頻繁に発生している。

この問題を解決する一つの方策として、平成22年度から交通マナーの向上や交通ルール遵守に向けた意識付けの取組を学生委員会主導で実施している [1]。本校では、これまでに入学当初の1年生に対してより良い高専生活を過ごさせるために、新入生オリエンテーションを実施してきた。

この新入生オリエンテーションは、充実した学生生活を過ごすために必要な学内での予備知識を研修形式で理解させるとともに、クラス内での友人関係を育む機会を新入生に提供してきた。先に述べた学生の交通マナーの向上や交通ルール遵守に向けた意識付けは、入学当初の早期に実施することが望ましく、まさしくこの新入生オリエンテーションがその役目を担ってきた。

これまで新入生オリエンテーションは校外で実施してきたが、実施場所の予約確保の困難さや利用料金の高さ等について学生委員会内で度々検討がなされた。その後、低価格な場所での実施に変更するも場所が遠方となり、

オリエンテーション全体の移動時間が占める割合が多くなり、研修内容を削減せざるを得なくなる状況となった。そこで、校外から校内に新入生オリエンテーション実施場所を変更することで実施場所までに移動時間を削減し、削減した時間を低学年から学内におけるルールや交通マナーの意識を向上させる研修や健康診断の時間に充て、先で述べた問題解決を図るために平成23年度においては、校内での新入生オリエンテーションを試行することにした。

本論文では、この新入生校内オリエンテーションの試行実施までの経緯と具体的なオリエンテーション実施内容について述べるとともに、校内でのオリエンテーション実施の効果と今後の課題について言及する。

2. 新入生校外オリエンテーション

これまでの新入生オリエンテーションは、校外で宿泊を伴う形式での実施であった。平成20年度までは、本校からほど近い、「信貴山玉蔵院」で実施されており、教務・学生・情報メディア関連の研修とクラスメイトとの連帯感・親密感を育成するイベントを開催していた。

学生のアンケートからも「楽しかった」、「友達をつく

ることができた」との意見が多いが、研修内容については、「学校でできるのでは」、「授業のようだ」との意見も数件あった[2]。

これに対して、実施場所と本校との移動は短距離であったが、実施場所「信貴山玉蔵院」の利用料金の高さや予約日設定の困難さをクリアするために、平成21年度より実施場所を「国立曽爾青少年の家」に変更した。

平成22年度は、平成22年4月9日(金)、10日(土)の二日間で実施された。従来までのオリエンテーションは、前年度を引き継いだ内容やタイムスケジュールで実施されている。遠方での実施場所におけるオリエンテーションのタイムスケジュール例として、平成22年度のオリエンテーションのタイムスケジュールの概略を表1に示す。

表1 従来のオリエンテーションのタイムスケジュール

| 1日目 | イベント内容 |
|-------------|--------------------|
| 8:30 | 登校 |
| 9:00 | 学年共通試験 |
| 12:10～12:55 | 昼食・更衣 |
| 13:10 | バス乗車 |
| 15:30 | 現地到着 |
| 16:00～17:00 | 周辺散策, 身支度, 現地イベント |
| 17:00 | 夕食・入浴 |
| 19:30 | HR |
| 22:00 | 就寝・消灯 |
| 2日目 | イベント内容 |
| 6:00～7:45 | 起床, 身支度, 現地イベント |
| 7:45～9:00 | 朝食 |
| 9:00～10:00 | 校長, 主事挨拶, 研修(40分) |
| 10:00～11:40 | フォトテレーリング or ハイキング |
| 11:40～12:55 | 昼食 |
| 13:00 | 退所 |
| 16:00 | 本校到着, 下校 |

従来の校外新入生オリエンテーションでは、宿泊場所と日程確保が非常に困難であった。特に、平成22年度においては、2日目が休日にならざる実施となった。これは、年間スケジュールが確定しきれない時期の前年度10月頃に会場を予約することが大きな理由である。

それ以外の問題として、近隣にオリエンテーションを実施できる適所が本校周辺にないため、遠方の施設でオリエンテーションを実施することで、長時間の移動による学生の体調不良、施設や提供される食事に対するアレルギーや体質の変化等の問題に対して、事前の対応が必要であった。さらに、消灯後に深夜近くまで談笑する学生がおり、寝不足により翌日の研修で居眠りしている学生も見受けられる。これ以外に、上記で述べた研修時間

以外の指導においても、主事、主事補、委員各位が常に対応する必要があり、長時間の指導と労力が必要であった。

研修自体は、表1内の下線部に示すように、「学生生活のしおり」を片手に、口頭による学生生活関係の説明が行われるのみで、それ以降に仲間づくりのイベント(HR、フォトテレーリング)が約1時間半実施されオリエンテーション内のイベントが終了する。

3. 新入生オリエンテーション内容の改定

これまで校外で実施してきた新入生オリエンテーションを、平成23年度においては校内で試行した。本章では、試行にむけた立案、計画案、実施までの経緯について述べる。

3.1 校内新入生オリエンテーション立案までの経緯

3.1.1 第1回目打ち合わせ

平成23年度新入生オリエンテーションについては、夏季休業前の学生委員会の主事・主事補の打ち合わせの席で議題の一つとして、提案された。この段階では、従来までの新入生オリエンテーションに準じた形式で実施するか否かの議論となった。この中で、従来までの新入生オリエンテーションの実施内容や実施時期について議論が交わされ、校外での実施や宿泊の必要性、移動時間の問題、新入生へのレクチャーする内容に関する意見が交わされた。

この段階で、校内で新入生オリエンテーションを実施するメリットの方が大きいことも考えられることから、次の打ち合わせで校内実施案を検討することになった。

3.1.2 第2回打ち合わせ

夏季休業終了前の打ち合わせで前回の議論を踏まえ、新入生オリエンテーションの形式変更の提案がなされた。特に、変更で得られるメリットとして、

- ① 実際の学生生活の場での研修の方が、効果的な学生指導効果が得られる。(服装、自転車置き場、交差点等の現場を見ながらの研修)
- ② 春期休業中に変更可能であれば、入学式までに本校学生としての自覚と誇りを早期に定着させることが可能と考えられる。
- ③ 宿泊場所の移動時間が短縮できる(信貴山玉蔵院や他の近隣施設での研修場所の変更も考慮)

が意見としてあげられた。

次に、校外新入生オリエンテーションの目的について再確認を行った。目的は、従来まで以下の3つの目的

- I 研修を通じて友達を作り，お互いの親睦をはかる
- II 奈良高専の学生としての自覚と誇りを持つ
- III 集団生活を通じて協力の精神をつちかう

を掲げていた。

この目的を見る限り，校外でかつ宿泊を伴う必要性はなく，校内でも十分目的を達成できるとの認識に至った。

しかしながら，Ⅲの目的については，宿泊がその目的を達成する上で必要であることも予測されることから，Ⅲの目的を重視するならば，卒業旅行，工場見学実施時期に，一泊二日形式での学外実習の実施もこれ以降で議論することになった。

また，新入生オリエンテーションの実施時期については，現段階で

- ① 春期休業中
- ② 従来の日程で1日目に共通テスト終了後，学内で研修。2日目に各学年共通のハイキング（1年は，本校周辺の校外学習）

の意見が出され，両時期での実施の実現性も含めて引き続き議論することになった。

3.1.3 平成22年度9月学生委員会

第2回の打ち合わせ内容を踏まえ，現実的に実現可能な範囲でこれまでの新入生オリエンテーション変更案を検討した。

その結果，「校外一泊二日形式」を「学内及び校外学習形式」に新入生オリエンテーションの変更する基本方針を学生委員会で提案した。

この提案内容に対して委員からの意見聴取を行うとともに，各学科においても提案に対する意見を取りまとめでいただき，その意見を反映した変更案を10月の委員会で再提案することになった。

3.1.4 平成22年度10月学生委員会

各学科からの意見聴取の結果，賛成意見が多数であった。よって，平成23年度の新入生オリエンテーションは，これまでの「校外一泊二日形式」を「学内及び校外学習形式」で実施する方向で計画を推進する方針を打ち出した。この方針案に対して，学科から意見で，指導内容の充実や的を絞った効果的な指導や仲間づくりの面から見た宿泊形式のメリット等の検討について要望が出された。

3.1.5 平成22年度1月学生委員会

10月の学生委員会の議論を参考にし，オリエンテーション内容の試案を提示した。試案において，タイムスケジュールについては，未定の状態ながら，1年生の春

季ハイキングの実施，校外学習として，高専周辺散策，交通指導の研修においてテスト実施後に許可書を発行，健康診断の一部実施等が検討された。

3.1.6 平成22年度2月学生委員会

1月の委員会の試案をベースにより実務的な案として具体化した。具体化するにあたって，1泊に代わる交流イベントの代替えとして校外学習を計画(民博)，テスト，許可書の発行を通学許可シールに変更，情報メディア関係のリテラシー（70分）の中でネットワーク関係の説明を省く等，タイムスケジュールと連動させながら研修内容の見直しや再検討を実施した。

4. 実施内容

4.1 学級担任との事前打ち合わせ

平成23年3月24日（木）第一会議室にて新1年生学級担任との事前打ち合わせを実施した。出席者は，教務主事，学生主事，学生主事補，新1年生学級担任である。

この事前打ち合わせで，

- 学生生活にまつわる指導方針の検討
- 自転車通学届
- 学生への指導事項
- 新入生オリエンテーション案
- 定期健康診断

等について打ち合わせをした。

この時点で，オリエンテーションのタイムテーブル全般と健康診断の一部の実施を盛り込んだ新入生校内オリエンテーション最終スケジュール（付録1）が確認された。

4.2 学生生活全般の研修（1日目）

4.2.1 学生生活全般の研修

最初に，研修概要のプリントを配布（以下の内容が記してある学生生活のしおりのページ数も明記している）し，それに基づき25分間で以下の内容についてスライド講義を実施した。

主な講義内容は，

- 学生とは
- 学生委員会，学生係の役割
- 学校生活に関すること
- 盗難予防
- 自転車通学
- 運転免許取得
- 日常生活
- 願い出・届出，証明書

- クラブ活動
- 学生表彰
- 懲戒処分

となっており、本校で学生として生活するうえでのルールや手続きについて説明した。

4.2.2 一般常識に関する研修

次に、学生生活に必要な一般常識の研修を20分間スライド講義として実施した。講義内容として、

- なぜ学ぶのか？
- 遅刻、欠席、寝るという行為は？
- あいさつ
- 約束をまもろう！！
- ホウレンソウを知ろう！！
- 個性とは？
- ゴみの処理
- 貴重品について
- 携帯電話の使用

について説明し、学生としての本分と自覚を促し、自律した学生生活を過ごすための一般常識について説明した。

4.2.3 交通安全・通学マナーの研修

この研修では、自転車、歩行者の違い、交通ルールの順守、安全運転、賠償責任、自転車保険等について、30分程度のスライド講義を実施した。

主な講義内容は、

- 交通ルールの厳守
- 自転車＝軽車両
- 歩道の通行→歩行者優先
- 安全ルール、安全確認
- 事故の責任（刑事・民事上の責任）
- 自転車に関する保険

である。

4.2.4 施設見学

昼食前に、一つは学寮周辺、もう一つは生協食堂を各クラス単位で施設見学した。学寮では、日常立ち入ることができない寮内を見学し、これ以降自宅通学生は立入が禁止されていることを確認させる。また、生協については、生協の役割と購買部および食堂部の場所、食堂の利用方法について確認させる。施設見学は、1日目は、MEが生協見学、S I Cが学寮の見学で、翌日はクラスを入れ替えて実施する。（翌日は雨天のため中止とした）

4.2.5 交通指導実地講習

平成23年度の新入生オリエンテーションで新たに企画した講習である。昼食終了後、13:00から各クラスルーム（電気工学科のみ電気工学科棟 電気基礎実験室）にて専門学科の主任による挨拶および学科紹介を行っていただき、その後、各クラスを2グループに分かれ、1グループは、主任と各専門学科の学生委員と共に、専門学科棟とその設備等の見学に向かう。残りのグループは、担任と一般教科の学生委員、主事、主事をと共に、ゴミ集積場を經由して、駐輪場を確認しながら、時間差を作り校門から校外に移動する。その後、大和中央道付近まで自転車通学経路の確認と自転車による通学時の走行方法と交通ルールを現場にて確認する。各注意ポイント（付録2）では、主事、主事補がグループごとに説明にあたる。

50分の見学時間でグループ同士が入れ替わり、同様の内容を繰り返す。その後、教室にクラス全員を集合させ、15:00からクラスルームにて、各自の研修内容の理解度をテスト形式で確認する。このテストを受験した後に、自転車通学許可シールを発行する。このシールの自転車への貼付についても講習内で説明を終えている。

4.3 学生生活全般の研修（2日目）

4.3.1 教務関係、学生相談室、保健室、情報リテラシ講演

二日目も初日同様に8:30に登校、9:00から各クラスルームにてホームルームを実施、そして、9:30から学生生活全般の研修として、教務委員会関係の説明、学生相談室および保健室からの説明、最後に、情報リテラシ講演を11:30まで2時間実施した。

教務委員会関係では、教務主事の挨拶で始まり、約1時間をかけて、教務関係の説明を学生主事補がスライドによって説明をいただいた。

学生相談室および保健室からは、学生相談室長が学生生活での悩みや相談およびハラスメントについて、看護師から保健室の案内、学生の健康管理について説明をいただき、最後の1時間で、情報メディア教育副センター長による情報リテラシ講演を実施した。

4.1.2 健康診断

昼食後、閉会式までの間に新入生に対する健康診断項目の内、検尿検査、内科検診、心電図検査、胸部X線検査、聴力検査、視力検査を実施した。これにより、新入生についての診断項目は、眼科検診、歯科検診を後日実施するのみとなった。

4.3.3 春季ハイキングの実施

従来は、春季ハイキングの裏側で校外新入生オリエンテーションを実施していたが、宿泊を伴わない平成23年度の新入生オリエンテーションで欠落すると指摘されていた新入生同士の連帯感、親密度を育む代替えの役割として、他の学年同様に春季ハイキングを組み入れることにした。すでに新入生オリエンテーションが終了してから2週間が経っており、1年生の春季ハイキングに同行し視察した限りにおいては、すでに友人関係も構築されており、事前に指摘されていた新入生同士の連帯感、親密度の欠落は見られなかった。

5. 総評

特に大きなトラブルもなく無事新入生校内オリエンテーションを終了することができた。スケジュールについてもほぼ時間通りに進行することができた。

実施した内容については、今後来年度に向けて改善する必要があると考えられる。特に改善については、新入生オリエンテーション終了後に、学生委員会と担任の先生方との反省会で出された意見を基に実施していく予定である。

反省会で出された代表的な意見として、

- 新入生に対して学級経営に関する話ができなかったことや、HRの時間が短いため伝達事項のみしか話すことができなかった。
- 健康診断でどのように学生を引率すればよいのかわからない
- スケジュールが担任にとってハードである
- 弁当による昼食は良好だった
- 入学して間もないので、新入生がリラックスできる雰囲気の内容にして欲しい。
- 転車経路の引率が二往復にならないに工夫して欲しい。

等があった。

校内オリエンテーション以降の登下校指導において昨年度と大きな変化が見られたのが、新入生の通学状況である。

まず、図1に示す平成23年度5月から7月までの登下校時の累積違反件数[1]を見ると、まだ本校に慣れていないこともあるが、1年生だけが全体的に違反件数が少ない。特に、雨天時には、雨具の装着やバス通学者の数が他の学年と比べて多いことが見て取れる。実際に、自転車で通勤している教職員からも1年生の交通マナーがよいとの意見も頂戴していることから、少なからず校内新入生オリエンテーションによる交通教育が少なからず効果があったといえる。

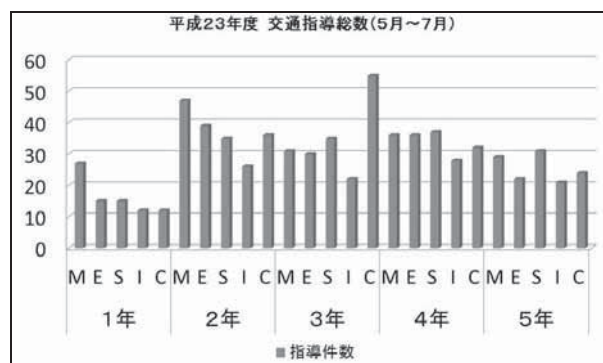


図1 登下校時の累積指導件数（平成23年5月～7月）

6. おわりに

本論文では、この新入生校内オリエンテーション試行実施までの経緯と具体的なオリエンテーションの実施内容、ならびに、校内オリエンテーション実施の効果と今後の課題について言及した。

「宿泊を伴わないと新入生間の親睦が深まらないのではないか」との事前の指摘がある中、平成23年度新入生校内オリエンテーションを試行した。

結果として、オリエンテーション自体はスケジュール通り無事終了することができたが、初めての試みであったため、関係各位には多大なるご負担やご迷惑をお掛けした点が多々見られた。しかしながら、校内での実施により充実した研修を実現することができ、緊張が解けない時期に新入生に、精神的、体力的に負担をかけずにオリエンテーションを実施できたことは非常に有用であったと筆者らは結論付けている。これに加えて、健康診断の大半をオリエンテーションで終了させることができ、授業に慣れていない新入生の授業割愛を少しでも減少させた点も利点であったといえる。また、オリエンテーション以降の1年生の交通マナーの意識や通学姿勢を見る限り、これまでの学生と比べて高いルール遵法意識を身に付けさせることができたと自負している。

今後は、反省会等で頂いた意見や次年度のオリエンテーションの形式について各学科からの意見を参考にしながら、オリエンテーション内容の改善と研修内容充実を図っていきたい。

参考資料・文献

- [1] 松尾賢一，大谷真弘，西野悟，小柴孝：“学生の交通意識向上にむけた取組とその効果～重点指導による「ながら運転」の撲滅を目指して～”，平成23年度 全国高専教育フォーラム 教育研究活動発表概要集，pp.23-24，(2011)

[2] 奈良工業高等専門学校：“自己点検・評価報告書”，
(2009)

謝 辞

平成22年度校内オリエンテーション実施におきまして、各方面からのご協力をいただきました。

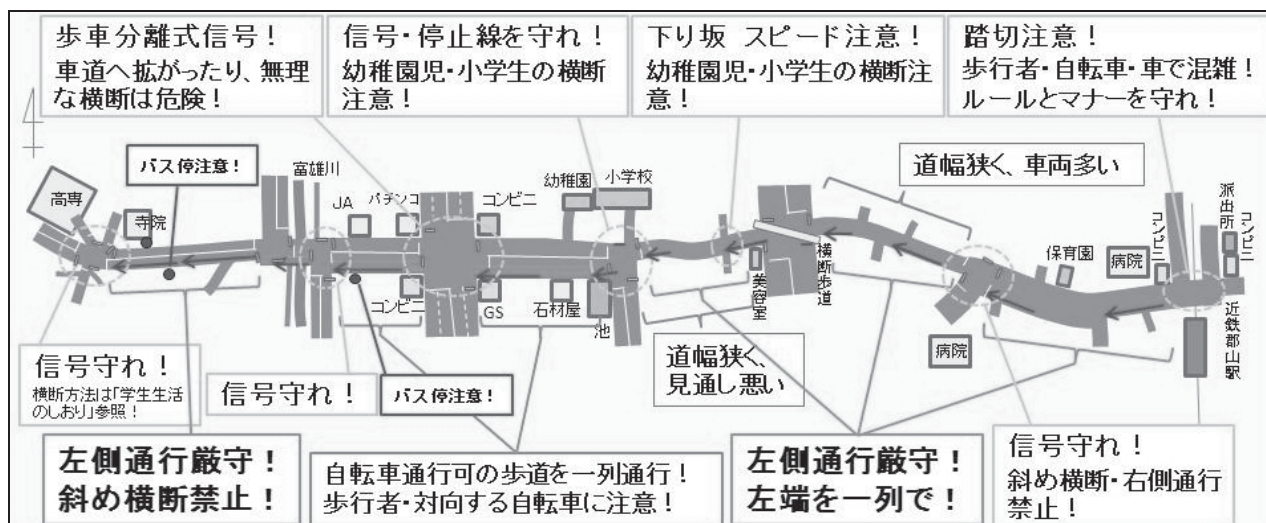
教務関係の説明では、ご挨拶いただきました教務主事の電気工学科 中村先生、研修を担当いただきました教務主事補の電子制御工学科 西田先生、学生相談室の説

明では、一般教科 桐川先生、保健室の説明では、学生係 看護師の篠畑氏、情報リテラシ講演では、情報メディア教育副センター長の情報工学科 山口賢一先生、各学科の紹介、誘導等でお世話になりました各専門学科主任の先生方、また、オリエンテーション全般をサポートしていただきました学生委員会の先生方、ならびに、学生係職員各位には、深く感謝いたします。最後に、日常での新生生の指導ならびにオリエンテーション全般を支えていただきました1年生担任であります、谷口、荒金、大矢、片山、亀井各先生に、深く感謝いたします。

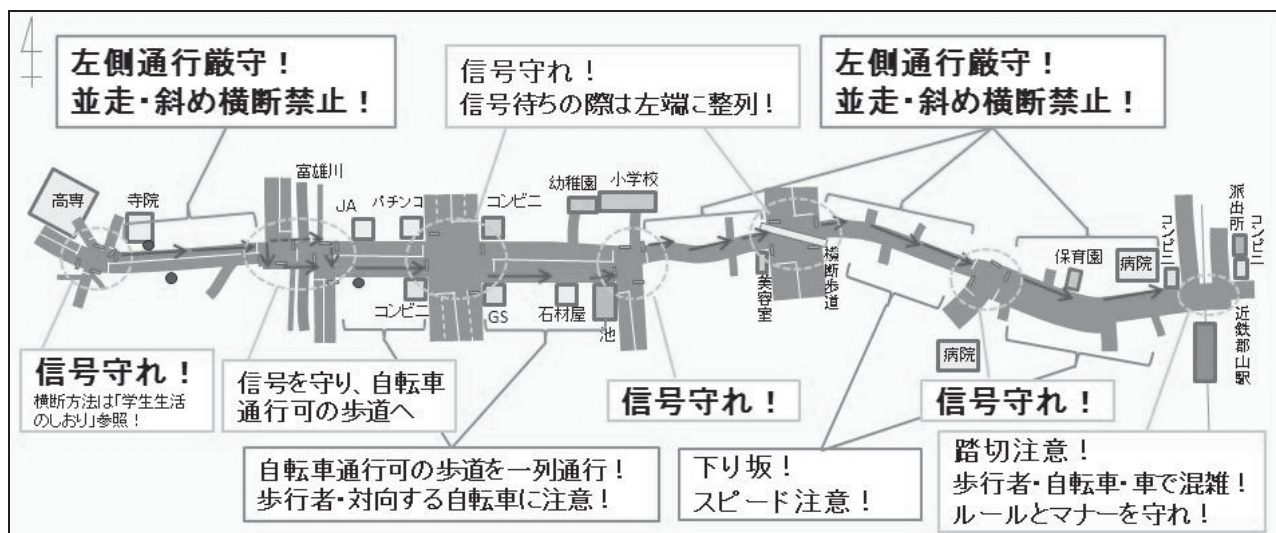
付録1 新入生校内オリエンテーションタイムスケジュール

| 1日目：4月7日(木) | | |
|-------------|---------------------------------------|-----------------------------|
| 時間 | 内容 | 場所 |
| 8:30～8:50 | 登校、教室集合、出席確認 | 各クラスルーム |
| 9:00～9:45 | ホームルーム、コミュニケーションタイム | |
| 9:50 | 新入生オリエンテーション開会式 | 大視聴覚室 |
| 10:00 | 学生委員会関係の説明 | |
| 10:30 | 入学後の学生生活に必要なレクチャー | |
| 11:00 | 交通安全・通学マナーについて | |
| 11:30 | 施設見学 ME：生協見学 SIC：学寮見学 | 生協、学寮 |
| 12:00～13:00 | 昼食・休憩 | 各クラスルーム |
| 13:00～13:20 | 学科主任からの挨拶、学科紹介 | |
| 13:20～14:10 | (各クラスを2グループに分ける。各50分) | ①学校周辺の通学経路 ②クラスルーム、専門学科棟 |
| 14:10～15:00 | ①交通指導実地講習・自転車経路の確認 ②学科紹介・校内、学科棟見学等 | |
| 15:00 | 交通安全理解度チェック、自転車許可シール発行 | 各クラスルーム |
| 15:30 | ホームルーム終了後、下校 | |
| 2日目：4月8日(金) | | |
| 時間 | 内容 | 場所 |
| 8:30-8:50 | 登校、教室集合、出席確認、検尿提出 | 各クラスルーム |
| 9:00 | ホームルーム | |
| 9:30 | 教務委員会関係の説明 | 大視聴覚室 |
| 10:30 | 学生相談室、保健室からの説明 | |
| 11:00 | 情報メディア教育センター関係の説明 | |
| 11:30 | 施設見学 ME：学寮見学 SIC：生協見学 | 生協、学寮 |
| 12:00～13:00 | 昼食・休憩 | 各クラスルーム |
| 13:00～15:30 | 健康診断 内科・心電図・胸部X線・聴力検査・視力検査(1Cのみ) | 合同教室、選択教室3 大会議室他 |
| 15:30 | 閉会式 | 大視聴覚室 |
| | ホームルーム終了後、下校 | 各クラスルーム |

付録2 自転車通学時における注意ポイント



(a) 登校時の注意ポイントマップ



(b) 下校時の注意ポイントマップ

